

ビール大麦品種「ほうしゅん」および「ミハルゴールド」のコンバインによる最適収穫時期と条件								
[要約]「ほうしゅん」および「ミハルゴールド」のコンバインによる適正な収穫時期は成熟期2日以降で、収穫時水分含量が栽培基準の25%以下となった時期に、コンバインに示されている適回転数で収穫する。早刈りは剥皮粒が発生し、発芽勢が低下するので絶対に避ける。								
農産研究所・育種部・二条大麦育種研究室					連絡先	092-924-2937		
部会名	農	産	専門	栽培	対象	麦類	分類	指導

#### [背景・ねらい]

優れた醸造品質と栽培性を有したビール大麦品種「ミハルゴールド」および「ほうしゅん」は従来の品種に比べ穀皮が薄く、不適切な収穫・調製作業による穀皮の損傷が懸念される。そこで、穀皮の損傷の発生程度や粒品質及び発芽能力からみたコンバイン収穫におけるこれら2品種の最適収穫時期と条件を明らかにする。

#### [成果の内容・特徴]

1. 「ほうしゅん」および「ミハルゴールド」のコンバインによる適正な収穫時期は成熟期2日以降で、収穫時水分含量が栽培基準の25%以下のときであり、扱き胴回転数が390-460rpmの範囲の条件では剥皮粒の発生と検査等級に大きな影響はなく上位等級を確保できる(表1)。
2. 高水分、早刈りは剥皮粒の発生が多くなるとともに、発芽勢が劣る(表1)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 「ほうしゅん」および「ミハルゴールド」の適正なコンバイン収穫を行うための参考資料として活用できる。

表1 「ほうしゅん」および「ミルゴ-ルト」の刈取時期と刈取回転数の違いによる粒品質

品種名	刈取時期 月.日	刈取時水分 %	扱胴回転数 rpm	剥皮粒率 %	検査等級	リトル重 g	整粒歩合 %	整粒千粒重 g	発芽勢 %
ほうしゅん	5.25 (-2日)	31.3	425	1.9	2等下	659	93.5	45.9	94
		31.1	460	2.2	等外上	654	95.4	46.2	88
		31.6	390	0.7	2等中	650	94.2	45.8	92
ほうしゅん	5.29 (+2日)	20.0	425	0.7	2等上	666	95.8	47.0	98
		20.0	460	0.6	1等下	657	96.1	47.0	98
		20.5	390	0.5	1等中~下	665	96.1	47.2	99
ほうしゅん	6. 2 (+5日)	21.0	425	0.6	1等下	670	97.1	47.9	100
		20.5	460	0.7	1等下	662	97.3	47.3	100
		18.5	390	0.2	1等下	646	97.7	46.6	100
ミルゴ-ルト	5.29 (-2日)	32.0	425	0.1	2等上	666	97.3	52.5	96
		32.5	460	0.3	2等上	662	98.1	52.3	95
		32.0	390	0.1	2等上~中	667	98.0	52.4	99
ミルゴ-ルト	6. 2 (+2日)	23.0	425	0.4	1下~2上	675	98.5	52.3	98
		23.5	460	0.4	1等下	682	98.0	52.4	97
		23.5	390	0.3	1下~2上	672	98.4	52.7	99
ミルゴ-ルト	6. 6 (+6日)	14.0	425	0.5	1等下	682	98.6	52.5	98
		14.0	460	0.8	1等下	684	98.4	51.8	98
		14.0	390	0.5	1等下	676	98.5	52.2	99

注) 1. 扱胴回転数425rpmは、使用したコンバインの麦収穫における適回転数。  
 2. 剥皮粒率は整粒における発生粒率、リトル重及び整粒千粒重は13%水分含量換算値。  
 3. 刈取時期( )内は、みかけの成熟期からの日数。

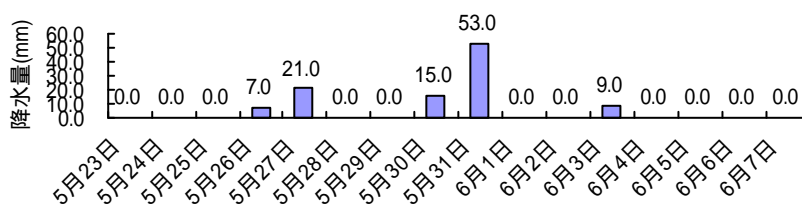


図1 刈取時期における日別降水量

[その他]

研究課題名：外観品質の優れた品種の育成

予算区分：国庫（指定試験）

研究期間：平成12年度（平成11年）

研究担当者：古庄雅彦、馬場孝秀、甲斐浩臣